

岐阜県立土岐商業高等学校

学 校 長 正 村 達 裕
学校所在地 土岐市土岐津町土岐口1259-1
電 話 0572-54-1291

1 会議の名称 岐阜県立土岐商業高等学校 学校評議員の会（第1回）

2 会議の構成（敬称略／50音順）

委員	安 藤 裕 美	土岐地区更生保護女性会理事
	竹 下 啓 太	名古屋工学院専門学校メディア学部部長
	中 村 達 男	東海旅客鉄道株式会社 土岐市駅長
	長 瀬 紀 行	土岐市土岐口財産区議長

学校側	校 長	正 村 達 裕
	教 頭	原 祐 一
	事 務 長	中 野 善 孝
	教 務 主 任	村 橋 昌 則
	生徒指導主事	澤 野 敏 勝
	進路指導主事	水 野 智恵美
	教務部（記録）	野 村 茉 椰

3 会議の目的

学校運営や教育活動等について地域の有識者や関係機関・団体等の代表者から幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進し、生徒の健やかな成長を図る。

4 会議の開催 日 時 平成28年6月20日(水) 13:30 ~ 15:00

場 所 土岐商業高等学校校長室

出席者 委員4名 学校側7名 計11名が参加

*校長の挨拶後、本校の教育について説明し、意見交換を行った。

5 会議の概要

テーマ（1）本校の教育について（本年度の成果と課題）

各分掌（教務部、生徒指導部、進路指導部）より本年度の成果と課題についての説明を行った。その主な内容は下記のとおりである。

（1）教務部

①基礎的・基本的な学力の定着

- ア 授業力・授業の質向上のため、授業力自己診断シートを各教員が実施し、その項目の一部を授業の課題として実践した。
- イ 基礎的・基本的な学力を定着させるため、適度な宿題の提示し、家庭学習の習慣定着を図っている。

②積極的な広報活動の展開

- ア 高校説明会や中学校訪問などの広報活動を計画的に実施する。
- イ 授業参観を実施し、施設設備・部活動等を紹介する。

③特色ある学校・学科作りの推進

- ア 専門的な学習内容、取得したい資格、進路実現を視野に入れた教育課程を作成する。
- イ 各学科・コースの課題とその改善を図る。

④校務の効率化と情報の共有化

- ア 「e-教務」の導入による運用と改善を行う。

（2）生徒指導部

①交通事故の現状について

年々、交通事故件数は減っているが、自損事故がまだ多い。保護者や生徒会等と連携して事故防止に努めていく。

②遅刻について

昨年は一昨年に比べ165件減少し、210件であった。今年度は200件以下を目標に取り組みたい。

③問題行動の現状について

情報モラルに関する指導を行っており、指導件数も減っている。

④教育相談の現状について

教員研修を行うなどして職員の教育相談に対する知識と技能を高め、全職員で取り組む相談活動を展開する。

⑤MSリーダーズについて

MSリーダーズの活動に対して、外部からも内部からも高評価をいただいている。

⑥部活動の成績について

陸上競技部やウェイトリフティング部、ワープロ部、簿記部、珠算部が全国に出場する。

(3) 進路指導部

①昨年度の進路状況

1. 進路状況

	就職	進学	計
男	35	53	88
女	46	66	112
計	81	119	200

2. 進学状況

	四大	短大	専門	計
男	39	0	14	53
女	21	8	37	66
計	60	8	51	119

3. 就職状況

(1) 職種別

	専門的技術的	事務	営業販売	生産労務	サービス	運送	合計
男	1	8	4	20	1	1	35
女	1	32	2	5	5	1	46
計	2	40	6	25	6	2	81

(2) 業種別

	建設・鉱業	製造	電気・ガス	情報通信	運輸	卸小売飲食	金融保険	医療福祉	サービス	公務員	その他	合計
男	1	21			5	4				3	2	36
女		13			4	8	3	5	8	1	3	45
計	1	34			9	12	3	5	8	4	5	81

(3) 地区別(公務員を除く)

	県内					県内計	県外計	合計
	東濃	中濃	岐阜	西濃	飛騨			
男	8	6	1			15	20	35
女	25	5	1	1		32	14	46
計	33	11	2	1	0	47	34	81

4. 求人状況

(1) 職種別求人数

専門技術	事務	販売・営業	サービス	保安	農林漁業	生産工程	輸送・機械 運転	建設・探掘	運搬・包装	合計
20	86	101	328	11	1	137	22	23	33	762

(2) 業種別求人数

農業 林業	漁業	鉱業 採石業 砂利採取業	建設業	製造業	電気・ガス 熱供給 水道業	情報通信業	運輸業 郵便業	卸売業 小売業	合計
1			28	128	2	11	51	120	
金融業 保険業	不動産業 物品賃貸業	学術研究・ 専門・技術 サービス業	宿泊業飲食 サービス業	生活関連 サービス業 娯楽業	教育・学習 支援業	医療・福祉	複合 サービス 事業	サービス業	合計
4	11	15	113	139	4	84	11	40	762

(3) 地区別求人数

県内					県内計	県外計	合計
東濃	中濃	岐阜	西濃	飛騨			
109	56	22	5	3	195	567	762

②今年度の取り組み

- ア インターンシップの実施や外部の教育力を活用し、望ましい勤労観・職業観を育成する。
- イ キャリア教育を推進し、主体的な進路選択ができるようガイダンス機能を充実する。
- ウ 生徒が自ら希望する進路を実現できるよう確かな学力や専門的な知識・技能を身につけるための指導を充実する。

例) ・ 外部模試や適性検査の定期的な実施

- ・ SHRの活用(小テスト、社説の書き写し、時事問題学習 など)

意見１：４月からそれほど時間が経っていないのに中学生だった子が大人になっている印象を受けた。

意見２：毎朝元気よく土岐商生が挨拶をしてくれるので楽しい気持ちになるし、青春と一緒に感じられる。

意見３：会議の前に球技大会を見せてもらったが、活気があり、さわやかだった。

意見４：昨年度の卒業生が２００名で入学して２００名全員が卒業というのは他の学校ではあまりないと思う。先生方の日頃の指導の成果ではないか。

質問１：MSリーダーズは個人が自己申告で申し込むのか。

回答１：依頼を受けて教室に掲示を行い、希望者を募っている。しかし、実際は個人で申し込む生徒は少なく、部活動や委員会という単位で申し込みを行っている。岐阜県独自の活動で、現在は中学校にも広まりつつある。本校は参加者が１００人を超えているが多い方だと思う。

意見５：検定試験に真面目に取り組み、それが実際に合格という結果に現れているのが素晴らしい。

意見６：JR主催のさわやかウォーキングに土岐商ショップが参加してくれている。生徒さんが売ってくれるとさわやかな雰囲気が出て嬉しい。

意見７：主権者教育として模擬投票を行ったという話があったが、これからも投票に行くように指導してほしい。

投票できるのは投票日の前日までに誕生日を迎える人と限定されているため、生徒の中でも投票できる人とできない人がいる。その温度差をどう埋めて、投票できない生徒も積極的に選挙について学べるようにするかも大切だと思う。また、期日前投票の仕方なども教えて投票率を上げる教育をしてほしい。

意見８：多治見市の中学生がこんなにも減ることに驚いた。

回答２：少子化の影響で中学校が合併し始めている。高校も活性化プログラムということで生徒数の少ない学校については今後のあり方を考え始めている。平成４０年には土岐商も４クラスになるとシミュレーションされている。今後定員を割らないように努力をしていかなければならないと考えている。

意見９：商業高校は普通科とは全く性質が違うのでなくなるのではないのか。

意見１０：進学ではなく、高校を出てすぐに就職というのは親にとっては嬉しいことであると思う。だから専門高校である土岐商がなくなるのは困る。

回答3：土岐商が必要だと言われるように努力していかなければならない。

意見11：常に外部に対して広報活動が行えるのはホームページであるから、HPに高校のアピールになるような記事を今以上にあげていくべきではないか。

意見12：基本的には土岐商生は駅に固まらないので助かっている。一方で岐阜県内では暴走族が復活し始めており、土岐市駅にも来ていることがある。土岐市の花火大会が実施されるが、女の子が遅くまで駅に残っているとそういった人たちが集まってくるので、早めに帰るよう指導してほしい。

意見13：土岐商に魅力がないからという理由で定員割れをしているわけではないと思う。単なる少子化の影響を受けているのではないか。しかし土岐については団地が増えたことによって子供も増えているので、この先そういう子達が土岐商へ入るようにするにはどうすべきかということを考えていくとよいのではないか。

6 会議のまとめ

評議委員の皆様には、ご多用の中、本校のためにお時間をさいいただき、また建設的なご意見、提言をいただき、ありがとうございました。

今回まとめた課題と皆様からいただいたアドバイスをもとに地域に根付き、地元の中学生をはじめとしたたくさんの方々に必要とされる学校づくりに励んでいきたいと思っております。今後ともよろしく願いいたします。